

真庭市立勝山小学校(〒717-0007 岡山県真庭市本郷 1801) 令和3年度 学校だより 36号(12月2号人権参観日)
幸せになる練習 子育ては待つ練習 夫婦は許す練習 人生は笑う練習 あいさつ率 中橋 80% 裏門 93.3% バス通 88%



勝山

★勝山漢字HP掲載中★

卒業するまでに、逆上がり、二重跳び50回以上、漢字は毎回100点をとれる子に

Tel:0867-44-3141 Fax:0867-44-3142 Mail:katsuyama_es@maniwa.gse.okayama-c.ed.jp

小学校で大切なこと
学校が好き
学び方がわかる
人とうまく関われる
コロナに勝つ!!

ご参観ありがとうございました

人権参観日 12/3

5年生

もう終わってしまう...

12/3 人権参観日保護者感想

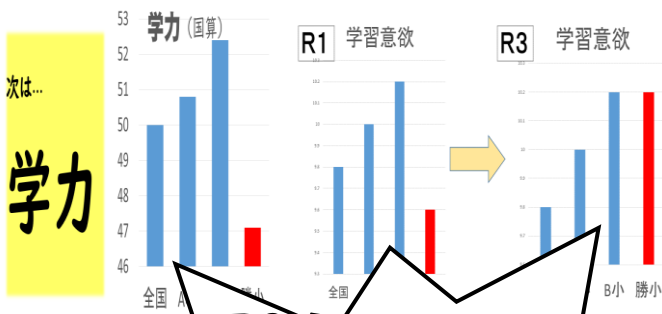
■年々授業態度が良くなっていてすごい。■子どもたちの素直な心、気持ちが表れていてとてもいい授業。■懇談でも学校の様子を詳しく教えてもらえて友達との様子がよくわかり安心。■字が書ける⇒文が書ける⇒問題を理解し自分の考えを表せる…すごい成長。先生ってすごい。頭が下がります。■人権参観日、子どもに響いてほしいと思う内容でした。私自身も改めて考えさせられた貴重な時間でした。■何度も発表をしたくて、自分が当てられないと機嫌が悪くなり…道徳の学びが行動に通じれば良いのですが…。■後ろから見てみると、みんなの背中がピンと伸びているのがとても気持ちが良い。■懇談でも話題にあがったように、「▲▲」や「▼▼」について気になりました。(▲・▼は人権的に課題のある言葉) イカゲームの内容は知りませんが、自分で良し悪しが判断できないうちはインターネットの制限を家庭でもよく話し合ってほしい。★家庭学習目標時間について⇒10月の調査では全校児童の5~7割の子が学年目標時間に達していません。12月の調査では改善の兆しはあるものの課題は大きいです。冬休みまでに「学力向上だより(仮称)」を発行します。家庭学習の充実にご活用ください。★「保護者が廊下でちょっとうるさい。私も反省」「授業態度について、一部の子に落ち着きがない様子があり心配」というご意見もありましたが、「日頃から学校が楽しいというのわかるような時間で、学校へ子どもを預ける身としては本当に安心してありがたい姿でした。『もう終わってしまう…』と、ついそんな言葉が出るほど毎日が楽しいのかと思うとうれしい」⇒こんな感想をいただけて、大変うれしく思います。学校の対応が十分だとは思っていませんが、参観日や学習発表会等、毎回丁寧な感想をいただきありがとうございます。ここに掲載できていない内容についても全てに目を通しており、今後の学校経営の参考にさせていただきます。本当にありがとうございます。※学校評価アンケートの分析資料としても活用させていただきます。

私の反省…日程について、「参観、懇談、学校状況説明会」としており、60分の懇談会の意義について学校側に確認不足がありました。この点について、厳しいご指摘もありましたが、次回へ向け改善すべき課題の一つとなりました。ご指摘いただきありがとうございました。懇談会に参加することで一人でも多くの方から、■「懇談では、うれしく幸せな気持ちになりました。素敵な時間を過ごさせていただき、ありがとうございました」(保護者)のような感想をいただけるよう改善いたします。



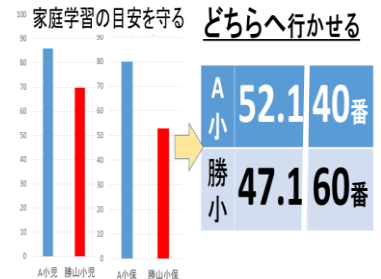
家庭学習の充実+コミュニティスクール導入にむけて…■皆様のおかげで子ども

たちの様子が大きく変わってきました。学校をさらに安定し、充実させるためにお願いが2点。まず、「宿題を多めに出すので家庭学習時間増のご協力を」2点目、「保護者同士が仲良くなる、みなさんの生きがいにつながるよう勝山小を活用」してほしいというお願いです。コロナ禍は、子どもたちの生きる意欲を奪うところが一番の問題。しかし、勝小は皆様のおかげで「生活意欲」が一気に高まり、学習意欲も体力もすばらしい。オンライン陸上で6年生から真庭NO1が2人も出ました。5年生がまたいい。学校が楽しいから、ネットトラブルも減り、不登校になりそうな子が激減し、実際に不登校出現率が改善。地域や保護者のみなさんのご支援のおかげで職員の超過勤務もぐんと減っています。それは、子どもたちへ関わる時間の増加を意味します。本当にありがとうございます。なぜこんなに良くなるのか。それは、勝山の地域力です。みなさんがいい。保護者の皆様、地域が学校を応援してくださるからです。本当にありがとうございます。次は、いよいよ学力で結果を出すときです。■が…状況は芳しくありません。何が原因なのか。家庭学習の差です。結果としてA小の学力は40番、勝小は60番。みなさん、どちらの学校へ行かせますか。A小ですよ。100校中60番の勝小より、40番の学校へ行かせたいですよ。中国では(小中学生)2時間48分の家庭学習をするそうです。国として勝てるはずがありません。ぜひ、家庭学習を充実させましょう。みなさんのご協力で、うまくいけば2年でこうなります。この時の教務の先生は田村教頭先生です。勉強も運動もでき、不登校がない勝山小にするには、コミュニティスクールの導入でさらに「勝山の地域力を生かす」こと。こんなに地域の人材・文化財に恵まれた地域はありません。中身のある「コミュニティスクール」にしていきたいと思います。今後、「勉強会」をします。■私が思うコミュニティスクールのキーワードは「ワクワクする取組」です。たとえば、これ。ハロウィン。正式名称は「ご近所ふれあい登校」。20年近く前に5年間続けました。地域からぜひ続けてという声がありましたが学校が対応できませんでした。コミュニティスクールではないからです。みなさんがその気ならお手伝いはできます。PTA、地域、学校、児童会…。教師も 保護者も 地域の人も…ワクワクする。これがなぜいいかを象徴する写真。おばあさんの顔を見てください。幸せそうですね。■地域連携でエネルギーのある学校にすると、必ず学力もアップします。勝山ならできる。地域の中に勝山小があることで地域住民みんなが幸せになる。こんなふれあいができる学校を共につくりましょう。(学校状況説明会校長あいさつ要旨)



◆勝山の地域力

- 学校を応援する力
- 地域学校協働本部(勝山SSC)
- コーディネーター2名
- ボランティア登録70名
- 学校の本来業務へ注力



勝山なら できる!!

家庭学習時間の充実で学力アップ!!

何者?

正解は…カブトムシでした

正門を入り右手の八重桜の下。ガルバリウムの波板で三方を囲った落ち葉捨て場。ここにやって来るはずの何者。その何者とはカブトムシでした。■大勢の子が様々な解答を寄せてくれましたが、正解者は2名。2年生の松尾意俊くん、芦田愛莉さんです。芦田さんは家族会議で話し合ったそうです。(右上のメモ参照)カブトムシが本当に来るのか楽しみに待っていますよね。早く来てくれますように…。最後まで読んでいただきありがとうございました。

